

相談支援連携部会の報告 (平成29年6月～平成29年9月)

1 開催日

① コア会議

第3回	7月7日	全体会の準備・振り返り
第4回	9月6日	計画相談の作成率向上に向けての意見交換

② 全体会

第3回	8月18日	障がい福祉サービス等に関する勉強会
-----	-------	-------------------

2 全体会における研修の実施状況

第3回の全体会では、「障がい福祉サービス等に関する勉強会」を実施しました。サービスの支給決定に関して曖昧だったことや、知らなかったことを整理できる良い機会になりました。

意見交換の場では、サービスの給付条件により、「利用したくても利用できない」障がい者がいることも改めて認識しました。下記にも記しましたが、今後はこういった課題について、部会としてどう取り組んでいくかも考える必要があると思いました。

3 相談支援体制に関する検討

前回も報告させていただきましたが、サービス等利用計画の作成率向上も含めて、春日井市の相談支援体制についての検討をしました。

検討を行う中で、指定特定相談支援事業所の現状を把握する必要性を感じました。そのため、コア会議メンバー（の一部）で、市内全ての指定特定相談支援事業所を訪問しました。訪問した結果、現在の指定特定相談支援事業所だけでは、相談支援の供給が全く足りないことなどが分かりました。

また、本部会に対する意見も複数いただきました。今後、市内の相談支援事業所は一枚岩となって、相談支援（計画相談）に取り組んでいかななくてはなりません。そのためにも、指定特定相談支援事業所も含めた相談支援事業所が把握した地域課題を、どのように検討していくかなどについても、本部会で検討していきます。

【指定特定相談支援事業所訪問結果】

- (1) 期間 平成 29 年 8 月 14 日から 8 月 31 日まで
- (2) 訪問事業所 14 事業所
- (3) 計画相談支援に対する意見

① 計画作成について

担当者会議の開催は調整等に時間がかかるため、簡易な方法を認めてほしい。

逆に、相談支援事業所と同一法人の利用者については、あまり時間はかからない。

利用状況が変化しやすい児童及び精神障がいの方は作成に時間がかかる。計画についての周知が足りない（必要性が理解されていない）。記入の仕方等具体的な作業においても経験がないと時間がかかる。

② 支援センターに協力してほしいこと

基本情報の聞き取り（アセスメント）を行ってもらえるならありがたい。会議等の同席、学校等への同行等を行ってほしい。

いつでも質問できる環境にあるとありがたい。勉強会も、レベル等に応じて参加したい。

困難ケースを含めて計画を作成してほしい。

事業所の情報提供（新規事業所等）を行ってほしい。

③ 制度的に見直してほしい部分

モニタリング回数の検討（実情に応じた設定）

書類の簡素化及び手続きの簡素化

書類の名称変更（利用者の抵抗感の削減）

④ 受入可能数

約 50 人可能 1 事業所

約 30 人可能 4 事業所

同一法人利用者は作成可能 6 事業所

現状からの受入困難 3 事業所